



教職員研修の概要や調査研究の成果など
総合教育センターの取組と様々な教育情報を
発信しています。
ぜひ教職員の皆さまも
フォローをお願いします。



県教委だより

豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育

No. 719

令和2年(2020年)11月20日発行

新型コロナウイルス感染症による偏見や差別の防止に係る教育長メッセージ (人権教育課)

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、感染者、濃厚接触者、医療従事者をはじめ、社会機能の維持のために働く方々やその家族に対する感染症を理由とした偏見や差別などが散見され、憂慮すべきことと捉えています。

このことを踏まえ、本県においては、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別の防止に向けて、児童生徒・保護者向けの教育長メッセージを8月26日に発信しました。

学校においても、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別が起こらないよう、教育長メッセージの周知・活用にご協力いただきますようお願いいたします。



【児童生徒の皆さんに伝えたいこと・お願いしたいこと】



- 新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということではありません。
- 感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなると、さらに感染が広がってしまうかもしれません。
- 感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校に戻ってきたら、温かく迎えましょう。
- 皆さんは、今、自分ができる予防をしっかりと行い、日々の学びを続けてほしいと思います。

児童生徒・保護者の皆さんへ

いつもより短い夏休みが終わり、新学期が始まりました児童生徒の皆さんに伝えたいことがあります。

新型コロナウイルス感染症が広がって、今までと違う毎日に、皆さんはたくさんのお悩みを感じていただいているでしょうか。そのような中でも、多くの皆さんが、皆さんが困らないように働いてくださっています。

しかし、残念なことに、SNSなどでは、そういった方やその家族、そして感染症にかかって苦しんでいる人に対して、心ない書き込みなどが散見しています。

皆さんが自宅や学校で感染予防を徹底しているにもかかわらず、身近な場所での感染の話を聞くようになります。自分の周りの人の感染を疑うようになることがあるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染症への予防や治療が、偏見や差別につながりません。

皆さんには、差別的な言動には同調せず、適切な行動をとることができるよう、伝えたいことやお願いしたいことが4つあります。

○新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染した人が悪いということではありません。

○感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなると、さらに感染が広がってしまうかもしれません。

○感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校に戻ってきたら、温かく迎えましょう。

○皆さんは、今、自分ができる予防をしっかりと行い、自分の学びを続けてほしいと思います。

今こそ、新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら、周囲の人にどうしてほしいかということを考えて行動しましょう。

皆さんの健康と、お子様と一緒に読むなど、ともに考えてくださいますようお願いいたします。

令和2年11月20日
埼玉県立総合教育センター
埼玉県教育委員会 教育長
高田直芳

教育長メッセージの全文は、人権教育課のページでご覧になれます。

新型コロナ 偏見や差別の防止に係る教育長メッセージ

検索

【問合せ】人権教育課 人権教育担当 (電話:048-830-6892)

学校における食育の推進について

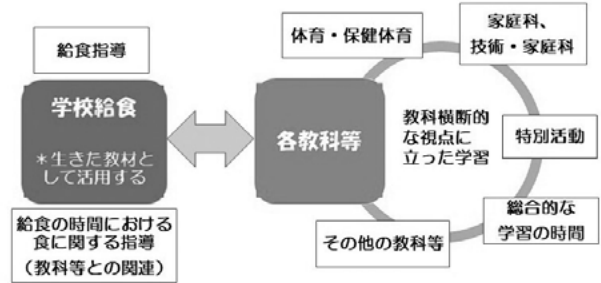
(保健体育課)

〇11月は「彩の国ふるさと学校給食月間」です！

本県では、収穫の秋の11月を「彩の国ふるさと学校給食月間」としています。地元産の食材を取り入れた給食による郷土学習を行うなど、地元産食材の一層の活用を図るとともに、地元産食材や郷土食等への理解を通して、ふるさとへの愛着を深める学校給食の活動を推進しています。

〇学校における食育の推進

食育は、社会的課題として様々な立場から取組が進められています。そのような中、学校における食育は、学校給食や各教科等での学習、学校行事等を通して、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育てていくための基礎を培っています。



また、学校における食育は、学校の教育活動全体を通して行うことが大切です。全教職員が十分に連携・協力して食の指導に関わることにより、児童生徒に対して継続的かつ効果的な指導を行うことができるようになります。

「食育の視点」は、「『食に関する指導の手引—第二次改訂版—』(文部科学省 H31.3)」において、食に関する指導が更に実践しやすいように再整理されたものです。学校教育活動の中には、「食育の視点」と関わりのある活動がたくさんあります。下記の「食育の視点」や「指導事例」をぜひ教育活動の参考にしてください。

【食育の視点】	【指導事例】
<p>◇食事の重要性 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。</p> <p>◇心身の健康 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。</p> <p>◇食品を選択する能力 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。</p> <p>◇感謝の心 食事を大事にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。</p> <p>◇社会性 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。</p> <p>◇食文化 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。 *「食に関する指導の手引-第二次改訂版-」より引用</p>	<p>〇学校給食と「食育の視点」のかかわり例 生きた教材として活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶「いただきます」「ごちそうさま」【感謝の心】 ・準備や片づけ、食事のマナー、友達と楽しく食事をする【社会性】 ・様々な交流給食の実施【社会性】【感謝の心】 ・献立の紹介、郷土食、地場産物、外国の食事等【食文化】 ・献立の紹介、栄養素【食事の重要性】【心身の健康】 ・調理員や生産者との交流【感謝の心】 <p>〇各教科等と「食育の視点」のかかわり例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校第4学年 保健「育ちゆく体とわたし」【食事の重要性】【心身の健康】 *給食の献立活用 ・小学校第6学年家庭科「くふうしようおいしい食事」 【食事の重要性】【心身の健康】【食品を選択する能力】*給食の献立活用 ・中学校第2学年技術・家庭科「食品の選択と保存」【食品を選択する能力】 ・特別活動 学級活動(2) *課題によって、食育の視点も変わる。*給食の献立活用 例) 小学校第1学年「好き嫌いをなくそう」【食事の重要性】【心身の健康】 中学校第3学年 受験期の食生活を考えよう【心身の健康】 ・小学校第5学年 社会「我が国の食料生産の特色」【食品を選択する能力】【感謝の心】 <p>※参照「令和元年度埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会学習指導案集」</p> <p>〇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・収穫活動(学校ファームの活用) ・委員会活動 ・地域、企業との連携 ・高等学校(技術・家庭科、総合等) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>上記以外の各教科等においても、「食育の視点」を位置付けて指導することができます。</p> </div>

【令和2年度埼玉県の食育の取組】

- ・埼玉県小・中学校食育指導力向上授業研究協議会(県内5会場)
- ・食育推進リーダー育成研修会兼つながる食育推進事業成果発表会
- ・つながる食育推進事業(文部科学省委託事業)
モデル地域：草加市 モデル校：草加市立清門小学校、草加市立新栄中学校
- ・彩の国学校給食研究大会

〇望ましい食習慣は「朝食」から

「第3期埼玉県教育振興基本計画」では、「毎日朝食を食べている児童生徒の割合」を施策指標とし、学校・家庭・地域が連携して朝食摂取の習慣化に取り組んでいます。

【毎日朝食を食べている児童生徒の割合】

	小学校 (第6学年)	中学校 (第3学年)
現状値 (H30)	86.6%	80.7%
令和元年度	88.5%	83.3%
目標値	90%	90%

※「全国学力・学習状況調査」より

また、県保健体育課では、朝食摂取の重要性を伝えるため、児童生徒、保護者用のリーフレットを作成するとともに、望ましい食習慣を見つけるための指導資料をホームページに掲載しています。詳しくは、県保健体育課のホームページをご覧ください。

埼玉県 朝食摂取の推進



朝がイチバン

朝食は一日のはじめの大事なスイッチ

私たちの脳は「ブドウ糖」をエネルギー源として使っています。朝起きた時に脳が「ホーツ」としてしまうのは、寝ている間にブドウ糖が使われて足りなくなってしまうためです。朝食を食べないと、午前中、脳は動いても頭はボンヤリ、ということになりがちです。脳のエネルギー源のブドウ糖を朝食でしっかり補給し、脳と体を目覚めさせましょう。

ごはんなどの主食にはブドウ糖が多く含まれています。

「体内リズム」と「生活リズム」

人間の体には、「体内時計」というものがあるのを知っていますか？体内時計は、光と関係があり、太陽が昇っている時は活動的に、沈んだら休息を促し、と働きかけています。これが「体内リズム」

「体内リズム」と「生活リズム」のズレをなくすには、まず朝食をしっかりとることがとても大切

朝日を浴び、朝食をとると、体内時計がリセットされ、一日の「生活リズム」が整います。

朝食を食べるためには、夕食の時間も大切。夕食が遅いと朝食坊して時間が足りない、朝ごはんが空いていないと朝食を食べられないなどの悪いリズムができてしまいます。

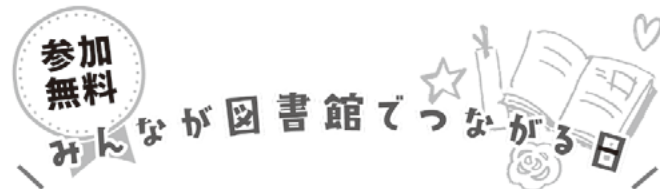
体にとって、そして心にとって、快適なリズムを子供のうちにしっかり体で覚えていくことが大事です。そのためにも、毎朝しっかりと食べる「朝(くせ)」をつけましょう。

【参考】県教育委員会HP 「子どもの食育」https://www.maff.go.jp/1/eyokuiku/kodomo_nav/
「みんなの食育」https://www.maff.go.jp/1/eyokuiku/minna_nav/

【問合せ】保健体育課 学校給食担当 (電話:048-830-6968)

県立熊谷図書館より

「図書館と県民のつどい埼玉」とは、県内の様々な図書館が協力し実施する、年に一度の図書館まつりです。今回はオンラインでの公開や、重松 清さんのPOPやメッセージをお送りいただくイベントも実施します。ぜひ、各学校で児童生徒や保護者の方にお知らせくださいますよう、お願いいたします。



図書館と県民のつどい埼玉

2020 12.13 @ 10:00-16:00

場所 / 桶川市民ホール・さいたま文学館

www.sailib.com

電話 | 埼玉県図書館協会 048-523-6291

開催にあたっては、十分な新型コロナウイルス対策を実施します。



重松 清さん記念講演

10:40 ~ 12:00

定員 300名

『ことばの力』

事前申込 質問募集
必要

本があるだけじゃない
図書館がわかる展示

10:00 ~ 16:00



みんなで作る! 重松 清展

10:00 ~ 16:00 POP はがき 30秒動画

「重松清さんのここが好きだ!」「この作品が私のイチオシ!」など皆さんの熱い想いをお寄せください。抽選で重松清さんのサイン本などをプレゼント!

後日、オンラインでも公開

記念講演はパスワードが必要です。詳しくはWEBをご覧ください。



「市町村立学校版 ICT教育ガイドラインver.1」の策定について

(義務教育指導課)

埼玉県教育委員会では、本年9月に「市町村立学校版 ICT教育ガイドラインver.1」(以下、「ガイドライン」という。)を策定しました。

1 本県教育を取り巻く状況

(1) 教育における情報化の急速な進展

国は昨年12月から、児童生徒1人1台PC端末や学校での高速大容量ネットワーク環境等の整備に取り組む「GIGAスクール構想」をスタートさせました。この構想は、「これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育を劇的に変えていく」ことを目指しています。

県内でも、全市町村が全対象学年分で本補助金を申請する見込みであり、年度内には、情報通信技術 (ICT) の環境整備が相当程度進む見込みです。

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大

本年3月の一斉臨時休業以降、新型コロナウイルス感染症の拡大は、我が国の学校教育に大きな影響をもたらしています。本県においても、6月以降に通常登校が順次再開されているものの、一方で、仮に各学校で感染が確認された場合、学級閉鎖・学校閉鎖等が必要になることもあり得る状況になっています。

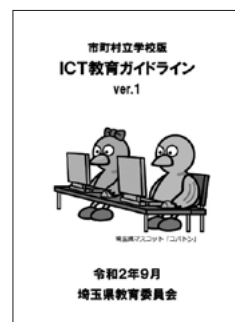
こうした中で、児童生徒が学校に集まらない事態にあっても学校教育活動を継続するための方策として、昨今、ICTを活用した教育に急速に注目が集まっています。

2 ガイドラインの二つの方向性

これら「ICTを活用した学校教育の変革」と「コロナ禍における学校教育活動の継続」という二つの観点を踏まえ、ガイドラインでは、ICT活用の基本的な考え方として、「①学校教育活動を継続するためのICTの活用」と「②新たな学びを創造するためのICTの活用」の二つの方向性を示しました。

このうち、①については、例えばZoom等を利用した同時双方向型の学習や、Google Classroom等を活用した双方向型の学習など、ICTを活用した様々な学習形態とそれらの留意点を整理しました。

また、②については、基本的な考え方を記述するとともに、特定の教科等に限定されない汎用的な活用方策や、各教科等の指導における活用方策を整理しました。併せて、教科等における先進的な指導事例を収集しました。これらの事例は、各教職員の皆さんが検索や活用がしやすいよう、総合教育センターのホームページ内「義務教育指導課研修用資料サイト」に掲載しております (<https://ecsweb.center.spec.ed.jp/gimushi/>)。



3 今後に向けて

今回のガイドラインはver.1であり、本資料については随時バージョンアップを図っていきたいと考えています。ver.2に向けては、ICTの活用にな慣れな教員も取り組めるよう、初歩的・汎用的な活用方策を整理するとともに、「各教科等の指導における活用方策」や「教科横断的な学びにおける活用方策」についても好事例を更に集め、深掘りしていく予定です。

【問合せ】義務教育指導課 教育指導担当 (電話:048-830-6783)

県教育委員会活動報告

(総務課)

教育機関訪問等

教育委員会では、月2回の会議のほか、教育現場の実情を把握するため教育委員による教育機関の訪問等を行っています。

今年度上半期は、下記のとおり実施しました。

■教育委員が訪問等した教育機関（令和2年度上半期）

訪問月	教育機関名	訪問月	教育機関名
7月	県立伊奈学園中学校 県立伊奈学園総合高等学校 県立上尾高等学校 県立浦和第一女子高等学校 県立宮代特別支援学校 県立杉戸農業高等学校 県立蓮田特別支援学校 県立大宮光陵高等学校	9月	飯能市立奥武蔵小学校・奥武蔵中学校 日高市立武蔵台中学校 渋沢栄一記念館 深谷市立深谷中学校 美里町立松久小学校 県立文書館 県立近代美術館

■訪問等の主な内容

○県立浦和第一女子高等学校

長期の臨時休業を経て通常登校が再開した学校の状況を視察しました。授業を見学するとともに、休業中のICTを活用した家庭学習、学校再開後の生徒の様子や学校行事の状況などについて、校長及び教職員との意見交換を行いました。

○飯能市立奥武蔵小学校・奥武蔵中学校

令和2年9月から公立小中学校の全児童生徒に1人1台のタブレット端末を導入した飯能市の施設隣接型小中一貫校を視察しました。タブレット端末が授業の中で様々な形で活用される様子を見学するとともに、市教育長、校長、教職員等との意見交換を行いました。

(訪問の様子)

「伊奈学園総合高等学校」(彫刻の授業)

「杉戸農業高等学校」(総合実習の授業)



【問合せ】総務課 議事文書担当（電話：048-830-6619）

県議会9月定例会（一般質問）における教育委員会関係答弁（会期9月24日～10月14日）

日付	質問者名（会派）・質問項目（答弁者）	日付	質問者名（会派）・質問項目（答弁者）
9月30日 (水) 一般質問	金野桃子議員（県民） ○コロナ禍における高校中退者へのフォローと就職支援の拡充について	10月5日 (月) 一般質問	岡田静佳議員（自民） ○渋沢栄一翁プロジェクトの立ち上げを（県庁に銅像を！） ○中学校における進路指導の実態と改善について ○コロナ禍における子供たちの活躍の場の提供と思い出づくりについて
	山本正乃議員（民主フォーラム） ○教育行政について ・全ての児童・生徒が学べる体制整備について ・コロナ禍における学校運営について		吉良英敏議員（自民） ○教育現場におけるヤングケアラーへの支援について ・学校スタッフへの研修等や情報共有の仕組みづくり ・学校サロンの設置 ・埼玉県学力・学習状況調査の有効活用 ・オンライン学習などの多様な支援
10月1日 (木) 一般質問	関根信明議員（自民） ○知事の公約について ・埼玉版SDGsの取組について ○障害者の雇用対策と避難場所について	10月6日 (火) 一般質問	岡地優議員（自民） ○小中学校におけるICTを活用した教育に対する支援について
	蒲生徳明議員（公明） ○実践的な防災教育について ・マイ・タイムラインを活用した防災教育について		※答弁者が空欄の場合は、教育長が答弁者です。
10月2日 (金) 一般質問	山口京子議員（自民） ○地元問題 ・黒浜公園周辺の整備と一体となった魅力ある高校づくりについて	県議会答弁は こちらから 埼玉県議会定例会概要 検索	

県立博物館等の情報

施設名(所在地)	展示・イベント情報など	展示・募集期間など	問合せ
歴史と民俗の博物館(さいたま市)	歴史民俗講座「考古資料からみた北武蔵の鎌倉御家人」	12月12日(土) 14:00～15:30(受付開始:11月12日(木) 9:00から)	048-645-8171 企画担当
さきたま史跡の博物館(行田市)	最新出土品展「地中からのメッセージ」	12月12日(土)から2月7日(日)まで	048-559-1181 資料・展示担当
嵐山史跡の博物館(嵐山町)	企画展「戦国の比企 境目の城」	12月5日(土)から2月14日(日)まで	0493-62-5896 学芸担当
近代美術館(さいたま市)	企画展「上田 薫」	1月11日(月・祝)まで	048-824-0111 近代美術館
自然の博物館(長瀬町)	特別展「埼玉記念物100年ー埼玉の天然記念物ってどう思いますか?ー」	2月28日(日)まで	0494-66-0407 自然担当
川の博物館(寄居町)	秋期企画展「タカ・ハヤブサ・フクロウ～荒川流域の猛禽類～」	11月23日(月・祝)まで	048-581-7333 川の博物館
文書館(さいたま市)	企画展「編さんのお仕事ー史料編さんの四半世紀ー」	11月20日(金)まで	048-865-0112 史料編さん担当
さいたま文学館(桶川市)	企画展 文学に描かれた埼玉の「城」	12月13日(日)まで	048-789-1515 さいたま文学館

※期間等については、変更になる場合がありますので、事前に各館のホームページでご確認ください。

埼玉県優秀な教職員の表彰 (はつらつ教職員表彰部門・れんたつ教職員表彰部門) について

令和2年度 埼玉県優秀な教職員の表彰者が決定しました。

令和2年度は、131人が候補者として推薦され、選考の結果、56人(小学校24人、中学校17人、高等学校10人、特別支援学校5人)の教職員が埼玉県教育委員会表彰を受けました。

表彰された優秀な教職員一覧

小学校

学校名・職名・氏名	分野等
川口・安行東小 教諭 湯澤 竜太(は)	特別活動
上尾・鴨川小 教諭 馬場 志保(は)	その他(プログラミング教育)
草加・草加小 教諭 古柳 聡(は)	各教科(理科)
戸田・戸田第二小 教諭 花野 嘉則(は)	学校教育目標の具現化
朝霞・朝霞第六小 教諭 丹羽 俊輔(は)	生徒指導
志木・宗岡第二小 事務主任 村井 一成(は)	学校事務
桶川・日出谷小 教諭 加藤 孝人(は)	各教科(国語)
所沢・上新井小 教諭 茂木 幸子(は)	道徳
富士見・勝瀬小 教諭 本間 章子(は)	校務分掌(研究主任)
坂戸・城山小 教諭 土井 鉄平(は)	道徳
川島・つばさ南小 教諭 森田 大輔(は)	生徒指導
熊谷・石原小 教諭 浅野 千恵(は)	各教科(算数)
行田・中央小 教諭 柏崎 一男(は)	各教科(音楽)
加須・三俣小 教諭 渡邊 純子(は)	道徳
羽生・手子林小 教諭 渡邊 千夏(は)	校務分掌(学校図書館教育)
三郷・彦成小 教諭 染谷 翼(は)	各教科(体育)
幸手・行幸小 教諭 田中三三子(は)	道徳
松伏・松伏第二小 教諭 菅原和佳子(は)	自立活動(特別支援教育)
新座・池田小 教諭 今井 一寿(れ)	各教科(算数)
北本・中丸小 教諭 興水 令子(れ)	生徒指導
東松山・松山第一小 教諭 小林 典子(れ)	道徳
日高・高萩北小 事務主任 安藤 和広(れ)	学校事務
越谷・蒲生第二小 教諭 山田 敦子(れ)	学年・学級経営
宮代・百間小 教諭 染谷美弥子(れ)	自立活動(特別支援教育)

中学校

学校名・職名・氏名	分野等
川口・北中 教諭 佐野 秀行(は)	各教科(保健体育)
鴻巣・吹上北中 教諭 高橋 朋子(は)	各教科(英語)
草加・草加中 教諭 齋藤 紀子(は)	道徳
所沢・北野中 教諭 東村 広子(は)	各教科(英語)
入間・野田中 教諭 浅見 浩佑(は)	その他(ICT)
毛呂山・毛呂山中 教諭 柳井 孝二(は)	校務分掌(教務)

学校名・職名・氏名	分野等
本庄・本庄東中 教諭 岡 真理子(は)	各教科(英語)
深谷・幡羅中 教諭 田端 和輝(は)	部活動(陸上競技)
久喜・久喜東中 教諭 秀嶋 矩子(は)	各教科(音楽)
八潮・八幡中 教諭 宇田 記子(は)	各教科(英語)
蓮田・平野中 教諭 田村 智美(は)	各教科(国語)
上尾・東中 教諭 石川 昭伸(れ)	学校教育目標の具現化
川越・南古谷中 教諭 阿部 洋子(れ)	各教科(音楽)
飯能・美杉台中 教諭 木下 智美(れ)	学年・学級経営
滑川・滑川中 養護教諭 市川 優(れ)	保健教育・保健管理、保健室経営
熊谷・江南中 事務主任 長島 正浩(れ)	学校事務
小鹿野・小鹿野中 教諭 佐藤 典靖(れ)	各教科(国語)

高等学校

学校名・職名・氏名	分野等
不動岡高校 教諭 松本 直樹(は)	総合的な学習の時間
草加西高校 教諭 蓮見 勇人(は)	学校教育目標の具現化
八潮南高校 教諭 鈴木 久就(は)	校務分掌(特別支援教育コーディネーター)
杉戸農業高校 教諭 奥田 文子(は)	地域との協働
所沢西高校 主任司書 長部 育子(は)	その他(図書館運営)
不動岡高校 教諭 小林 小百合(れ)	学校教育目標の具現化
松山女子高校 教諭 江口千佳子(れ)	校務分掌(教務主任)
所沢高校 教諭 榎元 俊介(れ)	地域との協働
川越総合高校 教諭 山田 紀之(れ)	学校教育目標の具現化
熊谷西高校 教諭 初雁 澄夫(れ)	各教科(書道)

特別支援学校

学校名・職名・氏名	分野等
越谷特別支援学校 教諭 齊藤 可奈子(は)	校務分掌(教務主任)
越谷西特別支援学校 栄養教諭 富永 ゆう(は)	学校給食
越谷特別支援学校 教諭 海老沢ひとみ(れ)	自立活動(特別支援教育)
けやき特別支援学校 教諭 竹村由香理(れ)	校務分掌(特別支援教育コーディネーター)
熊谷特別支援学校 教諭 金澤 範明(れ)	校務分掌(特別支援教育コーディネーター)

※氏名の後の(は)は「はつらつ教職員表彰部門」を、(れ)は「れんたつ教職員表彰部門」を表します。

【問合せ】小中学校人事課 管理指導担当(電話:048-830-6933)
県立学校人事課 管理指導担当(電話:048-830-6726)

☆県教委だより(No.720号)は、令和3年(2021年)1月21日に発行を予定しています。

発行●埼玉県教育委員会 編集責任者●教育総務部総務課長 栗原 正則 TEL●048(830)6714

☆「県教委だより」バックナンバーはこちらから

